

# 健康おおつ21（第2次計画）進捗状況について

資料 1

| 施策分野   | 目標項目  |   | 計画策定時   |                                   | 令和3年(度)                    | 令和4年(度)                 | 目標値<br>令和4年(度)          | 達成状況            |      |
|--|---|---|---|-----------------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------|------|
| 基本目標   | 1   | 健康寿命の延伸（日常生活動作が自立している期間の平均の延伸）<br><small>（平成24年度厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」健康寿命の算定プログラムより算定）</small> | 男性  | 78.69年(H22)<br>（平均寿命との差<br>1.75年） | 80.65年<br>（1.81年）<br>(H29) | 80.75年<br>（1.74年）<br>※1 | 81.99年<br>（1.88年）<br>※2 | 平均寿命と健康寿命との差の縮小 | ★    |
|  |   | 女性  | 83.48年(H22)<br>（平均寿命との差<br>3.76年）                             | 84.05年<br>（3.90年）<br>(H29)        | 84.47年<br>（3.89年）<br>※1    | 84.61年<br>（3.78年）<br>※2 | ★                       |                 |      |
| 1-1<br>栄養・食生活  | 2   | 食育に関心をもっている人の割合の増加<br><small>（大津市食生活・食育に関する市民意識調査）</small>  | 68.6%（H23）  |                                   | 81.3%                      | 89.0%                   | 90%以上                   | ☆☆              |      |
|  | 3   | 食育関連事業数の増加<br><small>（大津市栄養・食に関する取組み状況調査）</small>   | 428件（H23）   |                                   | 319件                       | 324                     | 530件                    | ★               |      |
|  | 4   | 朝食を欠食する人の割合の減少  | 子ども（小学5年生）<br><small>（滋賀県学校における「食育の日」実施計画報告書による大津市数値）</small> | 2.6%（H22）                         |                            | 4.9%                    | 5.1%                    | 0%              | - ※3 |
|  |   |   | 子ども（中学2年生）<br><small>（滋賀県学校における「食育の日」実施計画報告書による大津市数値）</small> | 5.6%（H22）                         |                            | 4.7%                    | 7.0%                    | 0%              | - ※3 |
|  |   |   | 男性（20～40歳代）<br><small>（大津市食生活・食育に関する市民意識調査）</small>           | 19.1%（H27）                        |                            | 25.4%                   | 19.7%                   | 15%             | ★    |
|  |   |   | 女性（4か月児の母親）<br><small>（大津市4か月健診）</small>                      | 8.5%（H22）                         |                            | 9.2%                    | 11.2%                   | 3%              | ★    |
|  | 5   | 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす<br>（週14回のうちの回数）<br><small>（大津市食生活・食育に関する市民意識調査）</small>                                     | 8.2回（H27）   |                                   | 8.1回                       | 8.4回                    | 10回以上                   | ☆               |      |
|  | 6   | 食塩の摂取量（g）   | 男性20歳以上   | 11.3g                             |                            | -                       | 12.1g                   | 8g未満（R6）        | ★    |
|  |   |   | 女性20歳以上   | 9.7g                              |                            | -                       | 9.7g                    | 7g未満（R6）        | ☆    |
|  |   |   | 脂肪エネルギー比率30%以上割合（%）   | 32.8%                             |                            | -                       | 30.9%                   | 減少傾向へ           | ☆☆☆  |
|  |   |   | 脂肪エネルギー比率30%以上割合（%）   | 40.4%                             |                            | -                       | 47.5%                   | 減少傾向へ           | ★    |
|  |   |   | 野菜摂取量（g）  | 281.7g                            |                            | -                       | 235.8g                  | 350g以上          | ★    |
|  |   |   | 果物摂取量100g未満の人の割合（%）   | 70.1%                             |                            | -                       | 55.8%                   | 35%             | ☆    |
|  | 7   | 適正体重を維持している人の増加   | 肥満（BMI25以上）者の割合の減少<br><small>（大津市国民健康保険特定健康診査受診者）</small>     | 40～64歳<br>男性                      | 34.7%（H27）                 | 35.3%                   | 36.5%                   | 30%以下           | ★    |
|  |   |   | やせ（BMI18.5未満）者の割合の減少<br><small>（大津市女性健康診査受診者）</small>         | 20～39歳<br>女性                      | 21.5%（H27）                 | 19.3%                   | 17.1%                   | 15%以下           | ☆    |
| 8  | 栄養表示や食育推進に参画する給食施設及び飲食店数の増加   | 栄養表示をしている給食施設（%）  | 64.8%   |                                   | 67.6%                      | 68.8%                   | 増加傾向へ                   | ☆☆☆             |      |
|  |   | 健康おおつ21応援団（飲食店）の増加（店舗）  | 28店舗（H28）   |                                   | 29店舗                       | 29店舗                    | 56店舗                    | ☆               |      |
| 9  | 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加<br><small>（給食施設等調査）</small>  | 66.3%（H23）  |   | 70.2%                             | 67.5%                      | 80%                     | ☆                       |                 |      |
| 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】   |   |   |   |                                   |                            |                         |                         |                 |      |
| <p>&lt;進捗状況&gt;<br/>朝食を欠食する人の割合について、令和3年度と令和4年度を比較すると、小学生はほぼ横ばいで推移している。また、中学生は大幅に増加した。小学生のほうが中学生と比較すると欠食率は低くなっている。【学校給食課】<br/>食育推進計画に基づき、各年代における食育課題を捉え、事業を実施している。健康教育の実施、朝食摂取の啓発記事を子育てハンドブック「大津っ子」に掲載、同内容のリーフレットを乳幼児健診や新生児訪問時に配布している。また、健康推進員とともに取り組んでいる。【健康推進課】<br/>食育関連事業数については、新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの事業が中止となったため令和2年度より減少している。<br/>朝食の欠食率（男性20～40歳代）については、策定時からの改善が見られず目標値には達していない状況である。大学や商工会等の関係・団体等を通じて、チラシ、ポスター等により周知啓発を行っているが、引き続き朝食欠食率の減少を図るため事業実施に取り組む。【衛生課】</p> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;<br/>子どもの朝食を欠食する理由は多岐にわたるため、今後も欠食率が減少するよう、各学校及び学校給食課において、引き続き朝食の大切さを伝え、取り組む。【学校給食課】<br/>女性の朝食欠食率が増加しているため、今後も朝食や生活リズムの大切さの周知等の取組を推進する。【健康推進課】<br/>食育については、食育に係るさまざまな関係者がさらに連携・協力を図りながら、目標達成に向けて食育の推進に取り組む。また、朝食の欠食率の改善に向けては、特に若い世代へのアプローチの強化を図りながら引き続き効果的な事業実施に取り組む。【衛生課】</p> |   |   |   |                                   |                            |                         |                         |                 |      |
| 施策分野   | 目標項目  |   | 計画策定時   |                                   | 令和3年(度)                    | 令和4年(度)                 | 目標値<br>令和4年(度)          | 達成状況            |      |
| 1-2<br>身体活動・運動   | 10  | 徒歩10分のところへ徒歩で歩く人の割合の増加（%）   | 20～59歳 男性   | 37.1%                             |                            | -                       | 51.4%                   | 50%             | ☆☆☆  |
|  |   |   | 20～59歳 女性   | 42.0%                             |                            | -                       | 50.7%                   | 50%             | ☆☆☆  |
|  |   |   | 60歳以上 男性  | 49.0%                             |                            | -                       | 54.0%                   | 60%             | ☆☆   |
|  |   |   | 60歳以上 女性  | 55.2%                             |                            | -                       | 60.9%                   | 65%             | ☆☆   |
|  | 11  | 運動習慣者の割合の増加（%）  | 20～64歳 男性   | 17.8%                             |                            | -                       | 45.5%                   | 28%             | ☆☆☆  |
|  |   |   | 20～64歳 女性   | 17.4%                             |                            | -                       | 43.4%                   | 27%             | ☆☆☆  |
|  |   |   | 65歳以上 男性  | 32.5%                             |                            | -                       | 63.3%                   | 43%             | ☆☆☆  |
|  |   |   | 65歳以上 女性  | 28.1%                             |                            | -                       | 57.8%                   | 38%             | ☆☆☆  |
|  | 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】  |   |   |                                   |                            |                         |                         |                 |      |
|  | <p>&lt;進捗状況&gt;<br/>・市内中学校区ごとに作成した地域いきいき健康マップをBIWA-TEKUアプリにコースとして掲載している。<br/>・各学区体育団体や大津市スポーツ協会等への補助金の交付等を通じて、地域スポーツの振興等を行っている。【スポーツ課】<br/>・高齢者生きがい施設を適切に維持管理を行うことにより、健康生きがいづくりの場を提供できた。【長寿施設課】<br/>・健康寿命の延伸には、運動や趣味に親しむ環境が身近にあることが必要である。サロン等通いの場へリハビリ専門職、運動指導士や栄養士の派遣など、高齢者自身が介護予防についての重要性を認識するよう介護予防の普及・啓発を行う。また、介護予防活動に取り組む市民団体の活動への支援を行った。【長寿政策課】</p> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;<br/>・大津市スポーツ推進計画の基本方針「地域のスポーツ活動の推進」の施策として、「総合型地域スポーツクラブの発展・支援」、「社会スポーツ団体の発展・支援」を掲げ、地域スポーツの推進に係る様々な事業を進めている。また、地域にある自然や歴史、地元名物とともにスポーツ施設や公園などを掲載した「地域いきいき健康マップ」をBIWA-TEKUアプリのコースとして活用するなど、気軽に体を動かせる機会の充実を図っている。<br/>・大津市スポーツ協会については、令和4年度に法人化され、本市からも事務局運営補助金を増やすなど強化を図っている。今後、これまで以上に協会との連携を進め、本市の地域スポーツの推進を図っていく。【スポーツ課】<br/>・施設の老朽化が進んでおり、今後も適切に維持管理を行うことで、引き続き健康生きがいづくりの場を提供していく。【長寿施設課】<br/>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、出前講座などの依頼が減っているが、自宅でもできる体操のリーフレットやDVDを作成し、配布した。今後は、地域のサロン等通いの場の活動状況の把握を行うとともに、出前講座を通して高齢者の健康づくりについて啓発を行っていく。令和4年より地域のリハビリセラピストが実施する出前講座メニューに「膝痛・腰痛予防」を追加している。今後も高齢者のニーズに合わせた講座内容を検討していく。【長寿政策課】</p> |   |   |                                   |                            |                         |                         |                 |      |

| 施策分野  | 目標項目                         |   | 計画策定時       | 令和3年(度)    | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況     |     |
|---|------------------------------|---|-------------|------------|---------|----------------|----------|-----|
| 1-3 睡眠  | 12                           | 睡眠による休養を十分取れていない人の割合の減少(20歳以上)(%)                               | 23.6%       | -          | 27.0%   | 16%            | ★        |     |
|   | 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】 |   |             |            |         |                |          |     |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康相談：実施回数 1,880回 相談延人数 6,574人 相談述べ件数 9,476件。実施回数は前年度より増加、相談延べ人数はやや減少した。【健康推進課】</li> <li>育児休業や育児休暇を取得しやすい社会環境を創出するとともに、安心して子どもを生み育てることができる社会の構築を図ることを目的とし、従業員の育児休業・育児休暇の取得推進等に熱心な企業等表彰事業を実施。また、ワークライフバランスセミナーを平成28年度より開催。【商工労働政策課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、すこやか相談所での健康相談は完全予約制に変更したため、相談人数等の伸びが見られなかった。今後は、感染拡大状況や情勢を踏まえて、相談機会の拡充につとめる。【健康推進課】</li> <li>経済産業省の人権啓発推進事業費を活用し、2月に「本格的な少子高齢化を迎えた日本での人材確保と人材育成」をテーマにセミナーを開催した(70名参加)。併せて、従業員の育児休業・育児休暇の取得推進等に熱心な企業等表彰を実施した。次年度においても、引き続き「ワーク・ライフ・バランス」について周知啓発を図っていく。【商工労働政策課】</li> </ul>  |                              |   |             |            |         |                |          |     |
| 施策分野  | 目標項目                         |   | 計画策定時       | 令和3年(度)    | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況     |     |
| 1-4 飲酒  | 13                           | 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少(%)                                 | 20.0%       | -          | 10.3%   | 7.7%(R6)       | ☆☆       |     |
|   |                              | 男性  | 20.0%       | -          | 10.3%   | 7.7%(R6)       | ☆☆       |     |
|   | 14                           | 未成年者の飲酒をなくす(15~19歳)   | 9.2%        | -          | 9.4%    | 0%             | ★        |     |
|   |                              | 女性  | 11.7%       | -          | 8.9%    | 0%             | ☆        |     |
|   | 15                           | 妊婦の飲酒をなくす(大津市妊婦相談調査結果)  | 3.4%(H23)   | 1.2%       | 1.3%    | 0%             | ☆☆       |     |
| 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】  |                              |   |             |            |         |                |          |     |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民対象のアルコール講座はオンラインでの動画配信として実施(11月1日~30日)。動画再生アクセス数157回であった。</li> <li>アルコールに関する健康相談を実施(訪問12件、面接19件、電話202件)した。【保健予防課】</li> <li>母子健康手帳交付時に飲酒の有無を確認している。飲酒者には、飲酒による母体や胎児への影響について説明し、必要に応じてチラシを手渡している。【健康推進課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール問題が深刻になる前に相談につながるように、今後も市民講座や従事者研修会を実施していく必要がある。【保健予防課】</li> <li>母子健康手帳交付時に飲酒の有無を確認している。飲酒者には、飲酒が母体や胎児への影響について説明し、必要に応じてチラシを手渡している。引き続き、母子健康手帳交付時等を通じて、禁酒の必要性について説明を継続していく。【健康推進課】</li> </ul>   |                              |   |             |            |         |                |          |     |
| 施策分野  | 目標項目                         |   | 計画策定時       | 令和3年(度)    | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況     |     |
| 1-5 喫煙  | 16                           | 子どものたばこ誤飲事故、受動喫煙防止対策を実施している人の増加(乳幼児健診時調査)                       | 誤飲事故防止対策実施率 | 64.8%(H22) | 100.0%  | 100.0%         | 増加傾向へ    | ☆☆☆ |
|   |                              | 受動喫煙防止対策実施率   | 84.1%(H22)  | 82.4%      | 80.6%   | 増加傾向へ          | ★        |     |
|   | 17                           | 未成年の喫煙をなくす(15~19歳)  | 男性          | 7.9%       | -       | 3.2%           | 0%       | ☆☆  |
|   |                              |   | 女性          | 3.3%       | -       | 1.8%           | 0%       | ☆   |
|   | 18                           | 成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい人がやめる)   | 男性          | 37.8%      | -       | 16.2%          | 18.8(R6) | ☆☆☆ |
|   |                              |   | 女性          | 7.5%       | -       | 3.1%           | 1.8(R6)  | ☆☆  |
|   | 19                           | 妊娠中の喫煙をなくす(大津市妊婦相談調査結果)   | 3.1%(H23)   | 1.9%       | 2.0%    | 0%             | ☆        |     |
|   | 20                           | 受動喫煙(家庭、職場・学校、飲食店)の機会を有する者の割合の減少                                | 家庭          | 16.0%      | -       | 4.1%           | 3.0(R6)  | ☆☆  |
|   | 21                           | 職場・学校   | 39.9%       | -          | 2.2%    | 0(R6)          | ☆☆       |     |
|   | 22                           | 飲食店   | 45.8%       | -          | 9.1%    | 15.0(R6)       | ☆☆☆      |     |
| 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】  |                              |   |             |            |         |                |          |     |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の高学年では、体育科の保健領域において、「喫煙や飲酒、薬物乱用等の行為が健康を損なう原因となること」を学習。</li> <li>中学校では、保健体育科の保健分野において、さらに詳しい情報を基に自分自身にどのような影響が出るのか、または、社会環境や他人にどのような影響が出るのか、について考え、適切に対処することについて学習。【学校教育課】</li> <li>路上喫煙防止啓発シートの貼り替えや広報車・広報誌による啓発を行った。【環境政策課】</li> <li>母子健康手帳交付時に、タバコが母体及び胎児に及ぼす影響について説明している。【健康推進課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県教委と連携を深めるとともに、積極的に健康の保持増進研修を紹介していく。【学校教育課】</li> <li>令和3年度、路上喫煙等現状調査の結果、午前、午後を含めて9つの路上喫煙等禁止区域における喫煙率は0.08%であり、低い水準が保たれている状況である。条例制定(平成21年3月)前の1.40%と比較しても減少傾向にある一方で、禁止区域外の喫煙者の苦情が寄せられるなど新たな対応が求められている。については、今後も広報車や広報おおつによる啓発など、路上喫煙防止に向けた周知活動の取組を継続することに加え、市内4か所においてマナースポットを設置し実証実験を行う。【環境政策課】</li> <li>喫煙を行うことで母体及び胎児への影響についての説明と指導を母子健康手帳交付時に継続して行っていく。【健康推進課】</li> </ul>   |                              |   |             |            |         |                |          |     |
| 施策分野  | 目標項目                         |   | 計画策定時       | 令和3年(度)    | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況     |     |
| 1-6 歯・口腔の健康   | 23                           | 3歳でむし歯がない人の割合の増加(滋賀県歯科保健資料集(大津市分))                              | 77.6%(H22)  | 87.6%      | 89.7%   | 90%            | ☆☆       |     |
|   | 24                           | 12歳児のむし歯の減少(滋賀県歯科保健資料集(大津市分))                                   | 0.93本(H22)  | 0.7本       | 0.8本    | 0.5本           | ☆        |     |
|   | 25                           | 妊婦自身の歯・歯肉と胎児の歯を守るために妊婦歯科検診を受診する人の増加(大津市歯周病検診調査結果)               | 11.8%(H23)  | 21.3%      | 23.4%   | 50%            | ☆        |     |
|   | 26                           | 35歳・40歳・45歳で進行した歯周病に罹患している人(4mm以上のポケットを有する)の割合の減少(大津市歯周病検診調査結果) | 43.0%(H23)  | 52.2%      | 50.6%   | 25%            | - ※4     |     |
|   | 27                           | 定期的に歯科健診を受ける人の割合の増加(大津市歯周病検診調査結果)                               | 30.0%(H23)  | 26.9%      | 31.4%   | 65%            | ☆        |     |
|   | 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】 |   |             |            |         |                |          |     |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3年生及び6年生を対象に歯科医・歯科衛生士による歯科保健指導を実施している。口腔疾患対策事業については、感染症流行のため令和4年度は中止とした。歯の衛生週間に小中学生を対象とした図画ポスター募集を行い、歯科医による表彰を行い、歯科保健の啓発を行っている。【学校教育課】</li> <li>3歳でむし歯がない人の割合、妊婦歯科検診受診率については増加傾向にある。歯周病の罹患率、定期歯科健診受診率については、策定時と大きな変化はなかった。妊婦歯科検診について、母子健康手帳交付時の啓発及び産科でのチラシ配布により受診率は年々増加している。【健康推進課】</li> <li>要介護状態には至っていないが生活機能の低下が見られる高齢者を対象に、口腔機能向上プログラム・栄養改善プログラム・認知症予防プログラムを組み合わせた通所型の介護予防教室を開催している。令和3年度より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を実施し、口腔機能が低下している恐れのある対象者へ受診勧奨や保健指導を実施している【長寿政策課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科保健指導の充実と図画ポスター募集、大津市歯科医師会と連携して歯周病疾患などの予防に取り組み、むし歯の本数は減少傾向にある。今後も、引き続き連携した取組を進めていく。【学校教育課】</li> <li>今後も産科との連携を図り、妊婦歯科検診の周知・啓発活動を進めていく。また、歯周病と全身疾患は関連があることから、さらに医歯連携をすすめ、市民への啓発を行う。【健康推進課】</li> <li>複合型の介護予防教室については、事業見直しを行った結果、令和5年度より休止となっている。</li> </ul> <p>令和3年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を実施し、出前講座の依頼内容が口腔機能であれば、参加者へオラルフレイルチェックを実施し、口腔機能の状態に応じて健康相談を実施している。【長寿政策課】</p> |                              |   |             |            |         |                |          |     |



| 施策分野   | 目標項目  |  | 計画策定時                   |            | 令和3年(度)    | 令和4年(度)    | 目標値<br>令和4年(度)         | 達成状況               |                    |
|--|---|--|-------------------------|------------|------------|------------|------------------------|--------------------|--------------------|
| 2-1<br>がん  | 28  | 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人あたり)<br>(人口動態調査(大津市分))           | 79.8(H22)               | 63.3(H29)  | 62.4※1     | 57.7※2     | 69.0                   | ☆☆☆<br>以前のモデル人口で評価 |                    |
|  | 29  | がん検診の受診率の向上<br>(大津市がん検診受診者の受診率)                          | 胃がん(バリウム)               | 1.8%(H23)  | 1.2%       | 1.2%       | 3.0%(H36)              | ★                  |                    |
|  |   |  | 胃がん(胃内視鏡検査)             | —          | 1.0%       | 1.5%       | —                      | ☆☆※5               |                    |
|  |   |  | 肺がん結核                   | 10.7%(H23) | 15.4%      | 16.6%      | 22.8%(H36)             | ☆                  |                    |
|  |   |  | 大腸がん                    | 16.4%(H23) | 13.7%      | 14.8%      | 22.3%(H36)             | ★                  |                    |
|  |   |  | 子宮頸がん                   | 20.4%(H23) | 27.4%      | 27.5%      | 32.2%(H36)             | ☆☆                 |                    |
|  |   | 乳がん  | 15.0%(H23)              | 13.7%      | 15.9%      | 22.5%(H36) | ☆                      |                    |                    |
| 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】   |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>・令和2年度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により受診率が全体的に低下したが、令和4年度は徐々に回復し、コロナ流行前の水準に近づきつつあるが、目標値とする受診率とは依然として乖離がある。【健康推進課】</p> <p>&lt;事業の評価、課題、今後の方向性&gt;</p> <p>・新型コロナウイルス感染症が国内でまん延する状況であったが、検診実施医療機関において必要な感染予防対策を講じながら事業を継続することができた。</p> <p>・がん対策推進基本計画の中間評価の結果をふまえ、令和4年度に「働く世代のがん対策推進事業」を新たに展開し、小規模事業所を対象としたがん検診の受診啓発活動や、従業員が仕事と治療を両立するための就労環境整備の支援を行った。「働く世代のがん対策推進会議」で関係機関の連携を強化しながら、職域も含めたがん検診受診率向上のための取組をすすめる。【健康推進課】</p>   |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |
| 施策分野   | 目標項目  |  | 計画策定時                   |            | 令和3年(度)    | 令和4年(度)    | 目標値<br>令和4年(度)         | 達成状況               |                    |
| 2-2<br>循環器疾患   | 30  | 脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人あたり)<br>(人口動態調査(大津市分))       | 脳血管疾患                   | 男性         | 45.3(H22)  | 25.6(H29)  | —                      | 18.8※2             | ☆☆☆<br>以前のモデル人口で評価 |
|  |   |  |                         | 女性         | 24.4(H22)  | 21.1(H29)  | —                      | 12.7※2             | ☆☆☆<br>以前のモデル人口で評価 |
|  |   |  | 虚血性心疾患                  | 男性         | 34.9(H22)  | 39.4(H29)  | —                      | 30.4※2             | ☆☆<br>以前のモデル人口で評価  |
|  |   |  |                         | 女性         | 12.9(H22)  | 14.6(H29)  | —                      | 9.6※2              | ☆☆☆<br>以前のモデル人口で評価 |
|  | 31  | 高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)(mmHg)<br>(大津市特定健康診査・特定保健指導の実施状況)    | 男性                      | 130(H22)   | 132.0      | 132.4      | 126                    | ★                  |                    |
|  |   |  | 女性                      | 128(H22)   | 130.5      | 130.8      | 124                    | ★                  |                    |
| 32   | 脂質異常症の減少  | LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合<br>(大津市特定健康診査・特定保健指導の実施状況)     | 男性                      | 11.1(H22)  | 8.1        | 7.3        | 8.3                    | ☆☆☆                |                    |
|  |   |  | 女性                      | 17.7(H22)  | 12.8       | 11.1       | 13.3                   | ☆☆☆                |                    |
| 33   | メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少<br>(大津市特定健康診査・特定保健指導の実施状況) |  | 平成20年と比べ<br>0.8%減少(H22) |            | 22%減少※1    | 23.3%減少※2  | 平成20年と比べ<br>25%減少(H35) | ☆☆                 |                    |
| 34   | 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上<br>(大津市特定健康診査・特定保健指導の実施状況)     | 特定健康診査の実施率   | 33.8%(H22)              |            | 35.5%      | 37.0%      | 48%                    | ☆                  |                    |
|  |   | 特定保健指導の実施率   | 2.5%(H22)               |            | 21.3%      | 21.1%      | 27%                    | ☆☆                 |                    |
| 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】   |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>・特定健康診査：受診者数 16,444人 受診率：37.0%、血圧測定：高値高血圧34.6% I度高血圧23.5% II度高血圧6.7% III度高血圧1.4%。徐々に特定健康診査の受診率は向上している。【健康推進課】</p> <p>&lt;事業の評価、課題、今後の方向性&gt;</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響はまだ少なからずあるが、徐々に特定健康診査の受診率は向上している。しかし、血圧値の受診勧奨に相当するI度II度III度の高血圧値の者の割合が年々上昇している。虚血性心疾患や脳血管疾患の重症化予防対策を行ううえで、高血圧対策は重要となってくるため、積極的に取り組む。【健康推進課】</p>  |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |
| 施策分野   | 目標項目  |  | 計画策定時                   |            | 令和3年(度)    | 令和4年(度)    | 目標値<br>令和4年(度)         | 達成状況               |                    |
| 2-3<br>糖尿病   | 35  | 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少<br>(大津市特定健康診査・特定保健指導の実施状況) | 1.3%(H22)               |            | 0.89%      | 0.80%      | 1.1%                   | ☆☆☆                |                    |
|  | 36  | メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少<br>(大津市特定健康診査・特定保健指導の実施状況)      | 平成20年と比べ<br>0.8%減少(H22) |            | 22%減少※1    | 23.3%減少※2  | 平成20年と比べ<br>25%減少(H35) | ☆☆                 |                    |
|  | 37  | 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上<br>(大津市特定健康診査・特定保健指導の実施状況)          | 特定健康診査の実施率              |            | 33.8%(H22) | 35.5%      | 37.0%                  | 48%                | ☆                  |
|  |   |  | 特定保健指導の実施率              |            | 2.5%(H22)  | 21.3%      | 21.1%                  | 27%                | ☆☆                 |
| 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】   |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>・特定健康診査：受診者数 16,444人 受診率：37.0%、特定健康診査の受診率は徐々に向上している。</p> <p>・受診勧奨と保健指導の2本柱で糖尿病性腎臓病重症化予防対策を実施している。受診勧奨は、特定健康診査の結果にて、糖尿病性腎症第2期・第3期・第4期相当の結果であるが、医療機関を受診していない者と糖尿病治療を1年以上中断している者に対して、訪問や電話、文書送付などを実施している。保健指導は、特定健康診査の結果にて、糖尿病性腎症第2期相当で医療機関で治療を行っている者に対して、3か月間の集団保健指導を、糖尿病性腎症第3期相当で医療機関で治療を行っている者に対して、6か月間の個別保健指導を実施している。【健康推進課】</p> <p>&lt;事業の評価、課題、今後の方向性&gt;</p> <p>・今後も引き続き、受診勧奨と保健指導の2本柱で重症化予防対策を実施していく。また、特定保健指導の実施も充実させ、重症化のリスクを持つ者を減少させる。【健康推進課】</p> |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |
| 施策分野   | 目標項目  |  | 計画策定時                   |            | 令和3年(度)    | 令和4年(度)    | 目標値<br>令和4年(度)         | 達成状況               |                    |
| 2-4<br>COPD  | 38  | 成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい人がやめる)                                  | 男性                      | 37.8%      |            | —          | 16.2%                  | 18.8(R6)           | ☆☆☆                |
|  |   |  | 女性                      | 7.5%       |            | —          | 3.1%                   | 1.8(R6)            | ☆☆                 |
| 市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】   |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>特定健康診査：受診者数 16,444人 受診率：37.0%、基本健康診査：受診者数 264人 受診率：9.2%<br/>健康相談：実施回数 1,880回 相談延べ人数 6,574人 相談延件数 9,476件<br/>健康教育：実施回数 8回 参加延べ人数 185人【健康推進課】<br/>特定健康診査の受診率は徐々に向上している。健康相談回数は前年度に比べ増加しているが、健康教育の回数は横ばいとなっている。</p> <p>&lt;事業の評価、課題、今後の方向性&gt;</p> <p>・母子手帳交付時に、妊娠が判明してからも喫煙を続けている妊婦には、胎児への影響などをリーフレット等を利用して説明している。また、喫煙をしていない妊婦には、受動喫煙の影響を説明し、たばこの煙を吸いたくない意思表示としてイエローグリーンリボンを配布している。【健康推進課】</p>   |   |  |                         |            |            |            |                        |                    |                    |



| 施策分野                                | 目標項目   |  | 計画策定時           |           | 令和3年(度) | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況 |
|-------------------------------------|--|--|-----------------|-----------|---------|---------|----------------|------|
|                                     | 39   | 自殺者の減少<br>(人口動態調査(大津市分))   | 71人(H23)        | 47人       | 55人     | 減少傾向へ   | ☆☆☆            |      |
| 40                                  | 新生児訪問の実施率の増加<br>(大津市新生児訪問実施率)  | 63.2%(H23)   | 86.5%           | 84.3%     | 増加傾向へ   | ☆☆☆     |                |      |
| <b>市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】</b> |  |  |                 |           |         |         |                |      |
| 3-1<br>こころの健康                       | <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉相談の実施(訪問649件、面談883件、電話5,737件)</li> <li>こころの健康づくりについての出前講座の実施(2回、21人参加)</li> <li>緊急告示病院と連携して、自殺未遂者に支援を行う、大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業の実施。(令和4年度新規29人)【保健予防課】</li> <li>各学区体育団体や市スポーツ協会等への補助金の交付等を通じて、地域スポーツの振興を図っている。【スポーツ課】</li> <li>学校生活員を全小中学校に、また、医療的ケア支援員を医療的ケアが必要な児童がいる学校に配置し、支援を要する児童生徒に対して個に応じた支援を図っている。また、道徳教育及び人権教育については、市立小中学校教員の専門性や人権意識が高まるように工夫していく。</li> <li>健康教育充実事業として、精神科・整形外科・産科婦人科の専門家校医を希望校に派遣し、児童生徒や保護者・職員等の指導を行っている。【学校教育課】</li> <li>母子健康手帳交付時や、妊娠中に実施する母親教室や両親教室の機会を通して、産後のホルモンバランスの変化によって産後うつがおこることを説明している。また、新生児訪問を通して、母親のメンタルヘルスの状況を把握、アセスメントを行い、必要に応じて産後ケア事業や親子教室をはじめとする市の事業やその他事業について説明、利用案内し、安心して子育てできるように支援を図っている。【健康推進課】</li> <li>市立小中学校に子ども支援コーディネーターを配置、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを派遣することにより、いじめだけでなく、不登校や児童虐待、ヤングケアラー等、子どもが抱える様々な生徒指導上の課題にきめ細やかに対応できる体制を構築している。</li> <li>すべての教員に対して各分野の専門家を招いた研修会を実施し、教員の意識や対応力の向上に努めている。</li> <li>生徒指導等教育課題アドバイザーによる助言や、生徒指導等専門員や指導主事、弁護士等外部専門家による指導・支援できる体制を整備するとともに、大津市立小中学校いじめ等事案対策検討委員会による調査、審議を行える体制を確立している。</li> <li>いじめ問題に関する弁護士による授業の実施、既存の授業に加え、福祉の専門家による多様な感じ方・考え方への理解を深める授業や、インターネット等によるいじめの防止に関する講演会を実施している。【児童生徒支援課】</li> <li>育児休業や育児休暇を取得しやすい社会環境を創出するとともに、安心して子どもを生み育てることができる社会の構築を図ることを目的とし、従業員の育児休業・育児休暇の取得推進等に熱心な企業等表彰事業を実施。また、ワークライフバランスセミナーを平成28年度より開催。【商工労働政策課】</li> <li>老人福祉センターにおいて趣味のサークル活動が活発に行われており、生きがいづくりに寄与している。【長寿施設課】</li> <li>訪問型介護予防事業では、うつ、認知機能の低下、閉じこもり傾向にある方へ、看護師等が自宅に訪問し、生活習慣の見直しをしながら、予防行動へのきっかけづくりを行っている。【長寿政策課】</li> <li>子どもが安全かつ快適に児童遊園地を利用できるよう維持管理を行う。【公園緑地課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価、課題、今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民や支援者からの精神に関する相談等、専門的な相談窓口として対応できている。市民や支援者に対して精神疾患の理解を深めてもらうため、啓発に努め、問題が深刻化するまでに早期に相談対応できるようにする。自殺対策計画にもとづき、関係所属や関係団体と連携を図りながら自殺防止の取組を展開していく。【保健予防課】</li> <li>大津市スポーツ推進計画の基本方針「地域のスポーツ活動の推進」の施策として、「総合型地域スポーツクラブの発展・支援」、「社会スポーツ団体の発展・支援」を掲げ、地域スポーツの推進に係る様々な事業を進めている。</li> <li>大津市スポーツ協会については、令和4年度に法人化され、本市からも事務局運営補助金を増やすなど強化を図っている。今後、これまで以上に協会との連携を進め、本市の地域スポーツの推進を図っていく。【スポーツ課】</li> <li>児童生徒への個に応じた支援をするため、支援員の配置が有効的であった。</li> <li>各校で工夫し、豊かな心と生きる力をはぐくむ教育の推進事業を利用され、児童生徒のメンタルケアに努めている。【学校教育課】</li> <li>伴走型相談支援事業の開始に伴い、妊娠から子育てガイドの活用や妊娠8か月アンケートを通じて、安心して出産・育児が行えるように、支援を充実していく。また、出産後の新生児訪問においては、メンタルヘルスのスクリーニングを実施し、育児不安への対応を実施している。必要に応じて、医療機関等へつないだり、産後ケア事業等を案内し、安心して子育てできるように今後も継続して支援を行う。【健康推進課】</li> <li>「子ども支援コーディネーター」を配置し、いじめ対応の一定のシステムが確立できている。また、学校だけでは対応が困難なケースについては、指導主事(教職)及び心理、福祉、弁護士等の専門家の派遣や、大津市立小中学校いじめ等事案対策検討委員会による調査・審議を行うことで、問題の解決が図られている。</li> <li>いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めてきた結果、各学校でのいじめの早期発見・早期対応が充実し、いじめの疑い報告も多くなるようになった。児童生徒は、様々な不安や悩みを抱えており、いじめ問題だけでなく、不登校や暴力行為など、様々な態様となって表出している。これらの課題に対して、多角的な視野を持ち組織的に子どもへの指導・支援を進めることが必要であり、子どもに対しても様々な角度から指導することが求められる。</li> <li>対応が困難ないじめをはじめとする課題については、今後も専門家の意見を取り入れながら解決を図るとともに、若手教員の生徒指導力の育成や専門性の向上に重点を置いた研修等を実施し、子どもたちが安心して学び、健全に成長できる環境を整えていく。また、教員だけでなく専門家によるいじめ問題等に係る授業を実施することにより、より多角的かつ組織的に子どもへの指導・支援を進める。【児童生徒支援課】</li> <li>経済産業省の人権啓発推進事業費を活用し、2月に「本格的な少子高齢化を迎えた日本での人材確保と人材育成」をテーマにセミナーを開催した(70名参加)。併せて、従業員の育児休業・育児休暇の取得推進等に熱心な企業等表彰を実施した。次年度においても、引き続き「ワーク・ライフ・バランス」について周知啓発を図っていく。【商工労働政策課】</li> <li>老人福祉センターにおいては、健康寿命の更なる延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点施設として機能の充実を図る。【長寿施設課】</li> <li>訪問型介護予防事業については、対象者が見つかりにくい現状があり、どのようにして対象者を把握していくかが今後の課題である。【長寿政策課】</li> <li>地域の実情に応じて、地域団体と協働での維持管理の取組を進める。さらに、地域の方が児童遊園地の維持管理に参画することで、「地域の子どもは家庭や地域の大人が見守る」仕組みづくりを進める。【公園緑地課】</li> </ul> |  |                 |           |         |         |                |      |
|                                     | 3-2<br>次世代の健康  | <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健安全法第11条に基づき、9月から12月までの間、大津市内の小中学校等を利用し就学時健康診断を実施。【学校教育課】</li> <li>母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査受診の必要性を説明を実施。妊婦自身の妊娠期から安全安心な出産を迎えられて、出産後は安心して育児が行えるように新生児訪問等を通して、支援を実施。母子健康手帳交付数は、2,407人うち妊娠初期での発行数2,325人。低出生体重児での新生児訪問は、受付201人、うち187人に対して訪問を実施。【健康推進課】</li> <li>市立小中学校に子ども支援コーディネーターを配置、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを派遣することにより、いじめだけでなく、不登校や児童虐待、ヤングケアラー等、子どもが抱える様々な生徒指導上の課題にきめ細やかに対応できる体制を構築している。</li> <li>すべての教員に対して各分野の専門家を招いた研修会を実施し、教員の意識や対応力の向上に努めている。</li> <li>生徒指導等教育課題アドバイザーによる助言や、生徒指導等専門員や指導主事、弁護士等外部専門家による指導・支援できる体制を整備するとともに、大津市立小中学校いじめ等事案対策検討委員会による調査、審議を行える体制を確立している。</li> <li>いじめ問題に関する弁護士による授業の実施、既存の授業に加え、福祉の専門家による多様な感じ方・考え方への理解を深める授業や、インターネット等によるいじめの防止に関する講演会を実施している。【児童生徒支援課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大津市内の小中学校等を利用し、就学時検診を実施。今後は、学校の大規模改修工事等が毎年行われるため、関係機関と連携し大型体育館での一斉実施や委託での実施等を検討していく必要がある。【学校教育課】</li> <li>妊娠初期での母子健康手帳交付割合は、横ばいである。未熟児の訪問については、未熟児養育医療の申請や産科医療機関よりのハイリスク連絡等を通じて把握を行い、訪問率を維持している。妊娠から出産・子育て期へと切れ目ない支援を行うことで、地域で親子が安心して健康的な生活を送ることができるように支援を継続していく。【健康推進課】</li> <li>「子ども支援コーディネーター」を配置し、いじめ対応の一定のシステムが確立できている。また、学校だけでは対応が困難なケースについては、指導主事(教職)及び心理、福祉、弁護士等の専門家の派遣や、大津市立小中学校いじめ等事案対策検討委員会による調査・審議を行うことで、問題の解決が図られている。</li> <li>いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めてきた結果、各学校でのいじめの早期発見・早期対応が充実し、いじめの疑い報告も多くなるようになった。児童生徒は、様々な不安や悩みを抱えており、いじめ問題だけでなく、不登校や暴力行為など、様々な態様となって表出している。これらの課題に対して、多角的な視野を持ち組織的に子どもへの指導・支援を進めることが必要であり、子どもに対しても様々な角度から指導することが求められる。</li> <li>対応が困難ないじめをはじめとする課題については、今後も専門家の意見を取り入れながら解決を図るとともに、若手教員の生徒指導力の育成や専門性の向上に重点を置いた研修等を実施し、子どもたちが安心して学び、健全に成長できる環境を整えていく。また、教員だけでなく専門家によるいじめ問題等に係る授業を実施することにより、より多角的かつ組織的に子どもへの指導・支援を進める。【児童生徒支援課】</li> </ul> |                 |           |         |         |                |      |
| 施策分野                                | 目標項目   |  | 計画策定時           |           | 令和3年(度) | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況 |
|                                     | 41   | 全出生数中の低出生体重児の割合の減少<br>(人口動態調査(大津市分))   | 9.3%(H23)       | 8.9%(H29) | 8.8%※1  | 8.9%※2  | 減少傾向へ          | ☆☆   |
| 42                                  | 肥満傾向にある子どもの割合の減少(身長体重曲線による)  | 小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合<br>(学校保健統計調査)   | 男子<br>4.0%(H23) | -         | 3.8%    | 減少傾向へ   | ☆☆☆            |      |
| 43                                  | 妊娠初期での母子健康手帳交付割合の増加<br>(母子健康手帳交付率)   | 91.4%(H23)   | 97.0%           | 96.6%     | 増加傾向へ   | ☆☆☆     |                |      |
| 44                                  | 未熟児で出生した児の訪問率の増加<br>(大津市新生児訪問実施率)  | 74.0%(H23)   | 93.1%           | 93.0%     | 増加傾向へ   | ☆☆☆     |                |      |
| <b>市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】</b> |  |  |                 |           |         |         |                |      |



| 施策分野  | 目標項目                                     | 計画策定時                                 | 令和3年(度)    | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況  |     |
|---|--|---------------------------------------|------------|---------|----------------|-------|-----|
| 3-3<br>高齢者の健康   | 45 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(60歳以上)の割合の増加の抑制(%) | 16.5%                                 | -          | 19.6%   | 20.9%以下        | ☆☆☆   |     |
|   | 46 健康いきいき講座の開催回数<br>(健康いきいき講座開催回数)       | 107回(H29)                             | 27回        | 28回     | 160回(H32)      | ★     |     |
|   | 47 認知症サポーターの養成(人)<br>(認知症サポーター登録数)       | 19,445人(H29)                          | 23,836人    | 24,750人 | 24,500人(H32)   | ☆☆☆   |     |
| <b>市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】</b>   |  |                                       |            |         |                |       |     |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者健康診査：受診者数 3,626人 受診率 26.1%。保険者である滋賀県後期高齢者広域連合の方針に従い、平成27年度より生活習慣病で定期的に受診して検査を受けている者及び介護認定を受けている者を健康診査対象外としている。【健康推進課】</li> <li>・老人福祉センターにおいて趣味のサークル活動が活発に行われており、生きがいづくりに寄与している。老人健康広場整備事業は現在事業として行っていない。(高齢者生きがい施設管理事業として維持管理を行っている)。【長寿施設課】</li> <li>・高齢者を対象に椅子に座ってできる介護予防体操教室の開催や、高齢者サロン等へのリハビリ専門職、運動指導士や栄養士の派遣など、高齢者自身が介護予防についての重要性を認識し、取組ができるよう介護予防の普及・啓発に取り組んだ。</li> <li>・老人クラブ会員数の減少及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、活動を自粛ないし縮小せざるを得ない状況の中で、助成事業を通じてクラブの活性化に取り組んだ。【長寿政策課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、後期高齢となる75歳人口増加の影響を受け、受診者は増加傾向にある。今後も、高齢者の疾病予防や早期発見のため、受診率の向上を引き続き目指していく。【健康推進課】</li> <li>・老人福祉センターにおいては、健康寿命の更なる延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点施設として機能の充実を図る。【長寿施設課】</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりサロン等通いの場の開催自体が縮小しており、出前講座の依頼が減少した。地域のサロン等通いの場の活動状況の把握を行うとともに、出前講座を通して高齢者の健康づくりについて啓発を行う。</li> <li>・また、令和4年度より65歳高齢者に「フレイル予防事業」を実施し、介護予防の啓発を行うとともに口腔・栄養・運動等メニューの中から無料で利用できるクーポンを配布している。市民自ら健康づくりができるよう、支援していく。</li> <li>・老人クラブの助成により、高齢者が健康寿命の延伸に向けて活動できるよう支援していく。【長寿政策課】</li> </ul>   |  |                                       |            |         |                |       |     |
| 施策分野  | 目標項目                                     | 計画策定時                                 | 令和3年(度)    | 令和4年(度) | 目標値<br>令和4年(度) | 達成状況  |     |
| 4-1<br>民間事業者・団体との連携   | 48 健康推進員の増加<br>(大津市健康推進連絡協議会会員登録者数)      | 552人(H24)                             | 378人       | 298人    | 増加傾向へ          | ★     |     |
|   | 49 栄養表示や食育推進に参画する給食施設及び飲食店数の増加           | 栄養表示をしている給食施設<br>(給食施設等調査)            | 64.8%(H23) | 67.6%   | 68.8%          | 増加傾向へ | ☆☆☆ |
|   |  | 健康おおつ21応援団(飲食店)の増加<br>(健康おおつ21応援団登録数) | 28店舗(H28)  | 29店舗    | 29店舗           | 56店舗  | ☆   |
| 50 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加<br>(給食施設等調査)  | 66.3%(H23)                               | 70.2%                                 | 67.5%      | 80%     | ☆              |       |     |
| <b>市の主な事業【進捗状況・事業の評価・課題・今後の方向性】</b>   |  |                                       |            |         |                |       |     |
| <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度のおおつ健康フェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、令和3年度に引き続き中止した。</li> <li>・健康推進員養成講座は令和3年度から再開し、令和4年度は、新規会員の加入はあったが、それ以上に、会員の高齢化、学区が脱退するなど退会者が多く、全体としての会員数は減少した。【健康推進課】</li> <li>・栄養表示をしている給食施設の割合について、栄養表示をされていない施設には巡回指導で栄養表示をするよう助言を行っており、計画策定時から増加している。</li> <li>・利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合は、参考値として管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合としている。一つの事業者(法人)が複数の施設を運営している場合や給食業務を委託された委託業者が複数の施設を一括して栄養管理している場合、各施設に管理栄養士・栄養士の配置を促すのが難しく、計画策定時から微増しているものの数値は伸び悩んでいる。【衛生課】</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、健康おおつ21応援団事業の登録数は横ばいとなっている。</li> <li>・地域・職域連携推進会議を開催し、情報共有を行うとともに地域の健康課題について協議を行った。【保健総務課】</li> </ul> <p>&lt;事業の評価・課題・今後の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での健康づくり活動の推進のためには、リーダーとなる人材が必要である。今後も健康推進員の養成を継続し、会員の資質向上のため、取組を継続する。【健康推進課】</li> <li>・給食施設の栄養表示は、施設の種類によって喫食者が表示内容の理解が困難な場合もあることから、施設の種類に応じて栄養に関する適切な情報提供が行えるように指導を続けている。目標は達成できていると考える。</li> <li>・管理栄養士・栄養士の特定給食施設への配置については、未配置の施設には引き続き指導を行っていく。健康増進を目的とする施設(義務教育以外の学校、事業所、寄宿舎等)における配置が進んでいない状況から、巡回指導を実施すると共に、給食施設調査の内容から必要に応じて個別指導を行う。【衛生課】</li> <li>・健康おおつ21応援団事業について、イベント等で活動の啓発を行うとともに、新規登録事業所の増加への取組や登録事業所との連携を拡充し、市民の健康寿命に関する意識啓発に努める。</li> <li>・働く世代への健康づくりについて、他課とも連携し、地域職域連携の推進に取り組む。【保健総務課】</li> </ul> |  |                                       |            |         |                |       |     |

※1 令和2年データ  
 ※2 令和3年データ  
 ※3 平成31年度より策定時と集計方法が異なるため、「評価不能」とした。  
 ※4 平成29年度よりマニュアル及び検診票の変更を行ったため「評価不能」とした。  
 ※5 平成30年度開始の事業のため目標値設定なし。前年度比較で判断した。

達成状況について(「直近実績値(今回更新されたもの)」と「計画策定時の数値」との比較)

| 判定基準(目標数値有り)                         | 判定基準(目標数値無し) | 評価  | 達成状況数 | 割合    |
|--------------------------------------|--------------|-----|-------|-------|
| 直近実績値が目標値を達成している場合                   | 実績値が大いに改善    | ☆☆☆ | 27    | 31.0% |
| 直近実績値が策定時の値と目標値の差の50%以上かつ100%未満である場合 | 実績値が改善       | ☆☆  | 19    | 21.8% |
| 直近実績値が策定時より改善しているが、目標値との差の50%未満である場合 | 実績値が横ばい      | ☆   | 18    | 20.7% |
| 直近実績値が策定時の値より悪化している場合                | 同左           | ★   | 20    | 23.0% |
| 直近実績値が今回更新されていない等で評価ができない場合          | 同左           | -   | 3     | 3.4%  |